

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	学びのミュージアム推進プロジェクト	実施期間	H23～H26	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本市においては、少子・高齢化が急速に進み、地域のつながりが希薄化しつつある。今後もこの傾向は進んでいくことが予想される中で、学校・家庭・地域のつながりを深めることが重要な課題となっている。若い世代が人生や子育てに対する夢や喜びを得ることができるよう子育て環境と支援体制の充実に努めるとともに、次代を担う子どもたちが健やかに育つよう学校教育の充実を図る必要がある。また、日本海側屈指の史跡群や貴重な出土品を有する本市において、古代から歴史と文化を再認識するとともに、これらを地域資源として活用する必要がある。地域住民においても自治会、NPO等を通じ、子育てや教育、歴史文化に関する取り組みが活発に行われており、住民ニーズは高い。						
プロジェクトの目的及び概要	市域全域を、子どもからお年寄りまでの「学び」のミュージアムと位置付け、学校・家庭・地域が連携した子育てと生涯学習の環境を築くとともに、地域資源である丹後の歴史文化、ものづくりの伝統や技術などを学び、生涯にわたって市民がいきいきと成長できる生涯学習都市の実現を目的とする。						
	総事業費（千円）	496,140	本年度事業費（千円）	135,217	交付金額（千円）		37,500
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	就学支援・教育相談事業	交付対象事業	専門相談員による教育相談の実施		学校教育の実情に精通した臨床心理士による研修や教育相談を継続して実施した。		
	教育支援センター管理運営事業	交付対象事業	教育支援センターを設置し、不登校の児童生徒の学校生活への復帰を支援		指導員を配置するとともに、カウンセリングの専門的知識を有する相談員（臨床心理士）による教育相談を実施し、社会的自立・学校復帰へ向けて学校や家庭への支援を行った。		
	小中一貫教育推進事業	交付対象事業	小中一貫教育研究推進協議会、学校教育連携専門部会の設置、モデル校連携教育の実施		小中一貫教育実施校による先行的な実践研究と検証を積み重ね、導入準備校では小中一貫教育の実施の基盤を整えた。		
	学習支援体制整備事業	交付対象事業	子どもたちの学びを支援する機械や仕組づくりの構築、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施		子どもたちの学びを支援する機会や仕組づくりの構築、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施した。		
	小・中学校及び幼稚園スクールサポーター等設置事業	交付対象事業	スクールサポーターの設置		スクールサポーターを設置し、児童一人ひとりの課題・特性を把握し、きめ細かな指導に努めた。（幼9人、小30人、中22人）		
	秋季特別展示「丹後VS但馬」開催事業	交付対象事業	市政10周年記念事業として、「丹後VS但馬」を開催		市政10周年記念事業として、「丹後VS但馬」を開催した。（観覧者739人）		
	「大丹後展」開催事業	交付対象事業	京都縦貫道全通にあわせ、「大丹後展」開催に向けた準備を行う		「大丹後展」開催に向けた準備を行った。		
	丹後・東海地方の文化・方言等関連調査事業	交付対象事業	丹後と東海地方の文化・方言等の調査研究を行い、刊行する		丹後と東海地方の文化・方言等の調査研究を行った。		
	スポーツ推進委員活動事業	交付対象事業	地域住民に対してスポーツの実技指導や助言を行うスポーツ推進員を設置		スポーツ推進員（54人）を設置して各種スポーツ事業を実施した。		
	放課後児童クラブ事業	関連事業	放課後児童クラブの運営		保護者の就労等により、学校の放課後、長期休業期間及び土曜日に家庭保育に欠ける小学生1年から4年までを保育した。（実施箇所10か所、対象児童数343人）		
	ファミリーサポートセンター事業	関連事業	ファミリーサポートセンターの運営		育児の援助をしたい人と受けたい人が会員となって地域ぐるみで子育てを支援した。（会員数106人）		
	子育て支援センター事業	関連事業	子育て支援センターの運営		在宅で子育てをしている保護者や児童等に対し相談指導を行うとともに、各種子育てに係る情報の提供、援助を行った。（実施箇所7か所、利用児童数延べ14,164人）		
小・中学校施設耐震補強事業	関連事業	学校耐震化計画に基づく耐震補強工事等		学校耐震化計画に基づき、耐震補強工事等を実施した。			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹後市

市町村 実施事業	小・中学校跡施設管理事業	関連事業	学校再配置基本計画に基づき廃校となった学校施設の維持管理	学校再配置基本計画に基づき廃校となった学校施設の維持管理を行った。
	スクールガード・リーダー設置事業	関連事業	児童生徒の登下校時の安全確保のためスクールガード・リーダーを設置	警察官OBなど防犯の専門家をスクールガード・リーダーとして5人配置し、子どもの登下校時の安全確保に努めた。
	成人教育事業	関連事業	地域学習講座やIT講習会などを開催	歴史探訪講座やIT講習会などを開催し、市民の生涯学習を支援した。
	各地域公民館事業	関連事業	各地域の特性を活かした各種教室及び講座を開催	各地域の特性を活かした各種教室及び講座を開催した。
住民 協働 事業	地域子ども教室活動補助金	交付対象事業	地域全体で子どもを守り育てる活動を支援	地域の中に子どもたちの居場所を確保し、地域全体で子どもを守り育てる活動を支援した。(7団体)
	市民体育大会事業	交付対象事業	市民対象の総合体育大会を支援し、市民相互の交流機会を確保する	市民対象の総合体育大会を支援し、市民のスポーツ競技力の向上とスポーツの推進を図った。(参加者1,937人)
	くみはまかヌーレーシング大会開催事業	交付対象事業	地域の特性を活かしたスポーツ大会を開催	誰もが楽しく気軽にスポーツができる環境づくりを行うため、地域の特性を活かしたスポーツ大会を開催した。
	久美浜湾一周駅伝競走大会開催事業	交付対象事業	地域の特性を活かしたスポーツ大会を開催	誰もが楽しく気軽にスポーツができる環境づくりを行うため、地域の特性を活かしたスポーツ大会を開催した。(参加者594人)
	近畿高等学校駅伝競走大会補助金	交付対象事業	スポーツ振興に寄与する、レベルの高い上位大会の開催を支援	近畿高等学校駅伝競走大会を支援し、上位大会を通して、地域のスポーツ振興を図った。(参加者1,400人)
	地域スポーツ振興事業補助金	交付対象事業	地域の特性を活かしたスポーツ大会を開催	誰もが楽しく気軽にスポーツができる環境づくりを行うため、地域の特性を活かしたスポーツ大会を開催した。
	青少年スポーツ教室事業	交付対象事業	地域で定期的に行っている青少年スポーツ教室を支援	青少年の体力向上、健全育成を図るための青少年スポーツ教室を支援した。(54教室1,232人参加)
	学校支援地域本部事業	関連事業	地域の学校支援ボランティアが学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備を行う	学校支援ボランティアとして、様々な学校支援活動を行った。(ボランティア数 470人)
住民が 取り組む 事業	子ども安心にこここカー	関連事業	児童生徒の登下校時の見守り活動	児童生徒の登下校時にこここカーによる巡回やボランティアによる地域見守り活動を行った。
	青少年に未知なる広大な宇宙の体験と夢を与える事業	関連事業	国際宇宙ステーションと交信を行うARISSスクールコンタクトを実施	
	総合型地域スポーツクラブによる地域住民に対する健康・スポーツ推進事業	関連事業	各種スポーツ教室やイベントを実施	

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹後市

成果指標①	成果指標の目標数値	地域子ども教室数 H22 7教室 →H26 12教室		成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	7教室
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	少子化及び地域活動の減少による。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	放課後児童クラブ 児童数（月平均） H22 358人 →H26 増加		成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	343人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	平成22年度に比べ若干減ってはいるが、待機児童はいない。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	子育て支援センター利用者数 H22 10,302人 →H26 増加		成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	14,164人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	事業内容の周知、実施箇所の増設による。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	小中学校数 H23 39校 →H26 27校		成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	27校
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	学校再配置の推進による。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑤	成果指標の目標数値	スクールホーター対象者充足率 H22 100% →H26 現状維持		成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	100%
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、きめ細かな指導、良質な教育環境を提供する必要があるため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果  ※未達成の場合も効果を記載すること	学校・家庭・地域が連携した子育てと生涯学習の環境を築くとともに、地域資源である丹後の歴史文化、ものづくりの伝統や技術などを学び、生涯にわたって市民がいきいきと成長できる生涯学習都市の実現に寄与した。  ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹後市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	子育て支援センターの運営により、対話による相談指導・情報提供などの支援を行うことができた。
	住民の自治意識を高める成果	スクールガード・リーダーや子ども安心にこここカー、地域見守り隊の活動により自治意識を高めることができた。
	行財政改革に資する成果	保育所、学校施設の再編により施設運営に係るランニングコストの軽減を図ることができた。
	その他の成果	学校教育においては、児童・生徒の不安を和らげ、心にゆとりを持てる手助けを行うなど、スクールサポーターと教職員が連携・協力し、学習に集中できる環境を整えることができた。 社会教育においては、各種教室及び講座を開催することで生涯学習の充実を図るとともに、各種スポーツ大会を通じた市民相互の交流機会を確保した。また、市史編さんや文化財セミナーなどの開催により歴史を学び次世代に引き継ぐ郷土愛を培った。